

まだ6月の中旬だというのに、30℃を超える暑い日が続いている。そんな中、毎年の恒例行事のように整形外科医局全室のエアコンが今年も故障した。整形外科医局が入っている棟は築50年を超えていて、さすがにエアコンは定期的に改修していると思いたいが、こんなに頻回に故障すると怒りを通り返して呆れてしまう。医師の働き方改革が始まって、超過勤務の多い整形外科医を早く退勤させるために、あえて嫌がらせをしているのではないかとひねくれた解釈もしたくなる。

近年の日本は、最高気温が35℃以下になる夏の日のほうが珍しく、不快な湿気も伴って常夏の国よりも過酷な環境になっている。このような酷暑にエアコンの温度を28℃に設定すれば、もともと生産性の低いわが国ではさらに生産性が悪化して、残業することになるのはわかりきったことではないか。残業のためにエアコンの稼働時間が伸びてエネルギーをさらに消費するといった笑い話のようにも思える。外国のように快適な温度設定のもとで、効率的に定時内で仕事を片づけるのが賢い働き方だと思うのだが。

さて、本号の特集は「脊髄再生を用いない脊髄損傷治療の現実と到達点」である。限られた施設でのみ行われている脊髄再生ではなく、多くの施設で対応可能な初期対応、手術療法、周術期管理と合併症対策、リハビリテーションといった治療法がまとめられている。飛驒一利編集委員が企画した、まさにタイムリーな特集をぜひ楽しんでいただきたい。ところで、脊髄損傷のさまざまなタイプや病態を十把一絡げにまとめて検討した大規模研究による結論が横行しているように感じるのは筆者だけであろうか。小松幹氏が述べているように、患者背景や損傷形態に応じた「個別化された治療戦略」が確立されることを期待したい。

昨年5月に学会参加のためにタイのバンコクへ出かけた。屋外は酷暑と湿気で辟易したが、屋内はエアコンがよく効いていて快適に過ごせた。一方、日本ではデパートでもエアコンの温度が昔より高く設定されているせいか、服を試着する気にもなれない。日本の消費が伸びないのは、エアコン設定温度にも一因があるような気がする。なんとなく第2次大戦中の「欲しがりません！ 勝つまでは」の根性論に似ていると感じるのは筆者だけだろうか。医局のエアコンが壊れたことで恨み節を綴ったような編集後記になってしまったが、本号に載っている論文はエアコンが効いたわが家で楽しみたいと思っている。

(永島英樹)

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年 徹 小柳知彦 田代邦雄
国分正一 服部孝道

編集委員

松山幸弘 (編集委員長)
高見俊宏 (副編集委員長)
亀山 隆 金 景成 黒川勝己
下川宣幸 高橋敏行 筑田博隆
永島英樹 中西一義 中村雅也
西田康太郎 原 政人 飛驒一利
堀 正明

Vol. 38 No. 8
(2025 年 8 月 25 日発行)

毎月1回25日発行

1部定価 (本体2,500円+税)
(配送料別)

年ぎめ予約購読料 33,300円+税
送料弊社負担

発行/株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷6-17-9

本郷綱ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

(担当: 西本・山岸)

印刷所/三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所/

(株)文栄社

TEL 03-3814-8541

(株)ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2025,
Printed in Japan

JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前
に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088,
FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の
許諾を得てください。